

平成29年1月31日

県木協だより

編集発行 宮城県木材協同組合
仙台市青葉区東照宮一丁目 8-8
TEL 022-233-2883
FAX 022-275-4936
E-mail:miyagi_wood@waltz.ocn.ne.jp
URL:http://www.miyagi-wood.jp/

謹賀新年



年頭のご挨拶
理事長 佐藤 豊彦

富県みやぎの繁栄は

木の優しさ復興住宅から

新年明けましておめでとうござい
ます。

初夢 笑顔でCLTお施主と契約

組合会員の皆様方にはつつがなく新
しい年をお迎えのこととお慶び申し上
げます。また、日頃から当組合業務運
営に對しまして多大なご支援、ご協力
を賜り誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと四月に熊本地
震、夏から秋にかけて一連の台風によ
る大雨災害、十一月には東日本大震災
の余震により仙台港に1・4mの津波
が押し寄せ、年末には糸魚川で強風に
よる大火など災害の多い年でした。さ
らには相次いで野鳥から発見されてい
る鳥インフルエンザウイルスなどにも

自然の猛威を感じさせられ、いつ
いかなる災害に遭うか全く予断を
許さない状況です。

木材業界としましては、昨年予
定されていた消費税増税が延期さ
れ、住宅市場の混乱はさけられま
した。県内の住宅着工数は昨年も
2万戸台と震災前の約2倍の水準
を持続しております。

昨年2月には宮城県CLT等普及
推進協議会が設立され、勉強会や
モデル施設建設など活発に活動し
ております。総じて復興が着実に
進み、木材需給もほぼ安定した、
落ち着いた1年ではなかったかと
思われます。

また、当組合の村井理事が多年
にわたり地域林業に貢献したこと
により、産業功労で文化の日表彰
を受けられ、さらには千葉副理事
長が全木連大会で全木連会長賞を
受けられました。ご功績に改めま
して敬意と感謝を申し上げます。
心よりおめでとうございます。

再生から発展へと向かう今年
は、引き続き復興住宅等への優良

みやぎ材、県産材の供給にしま
り取り組んでまいります。

また昨年はCLT元年でした
が、今年はCLT建築元年とし、
関係団体と連携してCLT等を活
用した木造建築実現に向けて、タ
ーゲットを絞るなど、より効果的
な活動に努力してまいります。

先人の努力と山の恵みに感謝し
つつ、安全作業でお施主さんへ安
全安心な木材を自信を持って届
けるよう励みますので皆様方のさ
らなるご支援ご協力をお願いし、
益々の商売繁盛とご健勝ご多幸を
お祈り申し上げます。本年もよろしくお願
いいたします。



絵 豊彦

新年のご挨拶



宮城県農林水産部
林業振興課長

高橋 壮輔

あけましておめでとうございます。

宮城県木材協同組合会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、政府の低金利政策などにより住宅需要が堅調に推移し、会員の皆様にとっては概ね良好な一年だったのではないでしようか。

当課で実施しております「県産材利用エコ住宅普及促進事業」の申請状況をみても、五月以降、毎月六十棟以上の申請がコンスタントに続き、年末までの申請件数が過去最高となるなど住宅需要の好調さが窺えました。

今年の三月十一日で東日本大震災から丸六年となります。また、四月からは県の震災復興計画の「再生期」の最終の年、次の「発展期」の土台づくりの大事な年がスタートします。復興需要後の県経済の活性化を見据えながら、知事が掲げる創造的復興

の実現に向け、これまでに育ててきたCLTや木質バイオマスの取組の芽が次の発展期にはたくさん大きな花を咲かせられるよう、更に力を入れて推進してまいります。

また、今年には次期「みやぎ森林・林業の将来ビジョン」の策定を行う年となります。平成三十年からの次期計画では、皆様に明るい希望を持つて頂けるよう、十年後の森林・林業・木材産業の姿をしっかりと描いてまいります。

今年も、県内林業・木材産業の発展に向け、一層努力してまいりますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のこの一年の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、年頭にあたつての御挨拶といたします。

地域から

「仙南地域における林産施設の

整備状況について」

宮城県大河原地方振興事務所

当管内の森林面積は県全体の二十五%(管内の総土地面積の六十八%)を占め、民有林のスギ・ヒノキのうち、収穫可能な8歳級以上の林分が七十二%と本格的な利用期を迎えています。しかし、森林資源が豊富な一方で、本地域には木材を製品化す

る施設が少なく、生産した素材の大半を他地域へ搬出して利用する状況にありました。

このような中、豊富な森林資源の循環利用による林業の成長産業化の実現に向け、国庫補助事業を活用した施設整備が進められ、製材及び木質バイオマス利用を行う二つの施設が完成し、年間原木取扱量が飛躍的に増加することで今後の地域材の利用促進に大きな期待が高まっています。

1 宮城十條林産株式会社製の材施設整備
白石市にある製材工場では、これまで小径木を中心に取り扱ってきましたが、震災復興に伴う建築需要の増加に対応するため、既存の工場に併設する新工場を整備し、平成二十七年十二月に完成しました。

これにより既存の施設で特殊材等の加工を行い、新工場で一般材を効率的に生産する体制が整い、目標とする年間原木取扱量は、従来の約二倍の二万四千立方メートルとなりました。さらに製材過程で発生する端材の有効活用を図るため、バイ



オマス燃料による乾燥施設を整備し、地域のモデルとなる循環型製材工場となっています。

2 有限会社米澤製材所の木質バイオマス供給施設整備

これまで製材と木材チップ生産を行ってきた既存施設の老朽化や敷地が手狭で思うように土場が確保できないことから、現工場とは別の場所（川崎町内）に第2工場を新設することとなり、建屋の構造にも地域材がふんだんに使用された新工場が平成二十八年三月に完成しました。

新工場では、木質バイオマス需要の増加に対応するため、木材チップ製造を専門に行う施設が整備され目標とする年間原木取扱量は、従来の約二倍の四万立方メートルとなり、地域材の大幅な利用増が図られると期待されています。



平成二九年度林野庁予算

来年度の林野庁予算の中から前記事のような、補助事業で施設整備等が行えるものを紹介します。

①次世代林業基盤づくり交付金

国予算 七〇億円

需要に応じた低コストで効率的な木材生産・供給を実現するため、CLT等を活用した木造公共建築物の整備等により需要拡大を図ると共に木材加工流通施設、苗木生産施設等の整備、間伐・路網整備を行い、地域の実情に応じた川上から、川下までの取組を総合的に支援

②新たな木材需要創出総合プロジェクト
国予算 一二億円

中高層建築等に活用できるCLTの利用促進、セルロースナノファイバーなど新たな製品・技術の開発・普及の加速化、地域材の利用拡大等を支援。

来年度当初予算分はすでに要望調査は終わっていますが、今後、林業機械や木材加工施設の整備をお考えの方は、補正予算や平成三十年度に向けて最寄りの各地方振興事務所林業振興部か当組合まで、お気軽にご相談ください。

森林環境税、今年中に結論

かねて、林野庁や全国知事会、市長会、町村会、林業関係団体が要望してきた森林環境税導入の結論が年内に示されそうです。2017年度与党税制改正大綱に明記されたもの。

国による森林環境税のイメージは国が全国民から税を徴収し、森林面積等に応じて各自治体に配分する。つまり、人口が多く森林の少ない都市から多く集め、人口が少なく森林が多い地方へ多く配分するものです。それを各地方自治体が森林吸収源対策、地球温暖化対策としての間伐等の森林整備などの財源に充てようとしています。

課題は本県でも実施している各府県の独自課税との調整です。林野庁としては国税と地方税が両立できる方向性を目指す意向のようです。本県でも、当組合にも大いに関わりのある県産材利用エコ住宅普及促進事業は県の環境税活用事業の中でも主要な事業であり、今後の国県の動きには目が離せません。

合法木材利用促進法（クリーンウッド法） ―五月二十日施行―

昨年五月に成立した「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」が五月二十日に施行されます。木材関連業者に対し、合法性が明らかかな木材・木材製品のみを取扱いを求め、違法伐採木材を国内から排除する目的で、国産材利用を進めるねらいもあります。対象となる木材関連業者は丸太や製材、合板を扱う供給者側の事業者のみならず紙や家具、

住宅建設事業者など需用者側も入ります。小売事業者は入りません。これらの事業者は「登録木材関連業者」として登録し取り扱う木材の合法性を確認することが求められます。合法の判断基準は、国産材は伐採届等で行われる様ですが、当組合も担っているこれまでの林野庁のガイドラインに基づく合法性証明もこの制度全体の中に位置づけられるようです。国では、五月の施行に向けて、地方での説明会を開催する予定です。改めてご案内いたします。

栄えの受賞

平成二八年文化の日報彰

産業功労

理事

村井八郎 氏

第五一回全国木材産業振興大会

全木連会長表彰状

副理事長

千葉 基 氏

全木協連会長表彰状

前専務理事 畠山雄一 氏

おめでとうございます



『平成二八年度優良職員表彰』

永年にわたり組合員事業体の職員として業務遂行の功績が顕著で、他の模範となる次の六名の方々が、表彰されることに決定しました。おめでとうございます。

宮城県木材協同組合

今 英二 氏

鬼首振興(株)

高橋 敏行 氏

宮城十條林産(株)

我妻 智之 氏

同

門傳 翼 氏

(有)米澤製材所

大宮 健一 氏

同

鈴木 由昭 氏

表彰式 二月二三日(木) 午後一時 ホテル白萩

『第十八回木造住宅コンクール表彰』

県内各地から多数の応募作品が寄せられ厳正な審査の結果、次のとおり表彰されることになりました。

なお、入賞作品は木造住宅コンクール写真集として発行する予定です。



施主市町・施工者・設計者

☆優秀賞 仙台市・(株)サステイナライフ森の家・アトリエ森の舎

石巻市・(株)建築工房創・同

☆優良賞 仙台市・(有)佐藤要次建築・樹建築設計事務所

仙台市・(株)創建築・同

栗原市・(有)伊藤ハウジング・同

☆奨励賞 石巻市・アット・ホームおおも

り・工作舎

表彰式 優良職員表彰に同じ

組合へのご寄付御礼

うわぬま製材所有限公司 小野寺 基 様
誠にありがとうございました

みやぎCLTシンポジウム 開催

日時 二月十七日(金)午後一時半～四時半
場所 東北大学工学部 土木大講義室
日本CLT協会会長・銘建工業社長の中島浩一郎氏による講演「CLTと木材産業の未来」や「国内・県内におけるCLT等の現状とこれから」のシンポジウムが開かれます。参加は無料。詳細やお申し込みは組合までお問い合わせ下さい。

経営セミナー 受講者募集

日時 二月二三日(木)午後二時～四時
場所 ホテル白萩 2階 けやき
テーマ 「わが国のスギ材ビジネスの動向と宮城県のスギ製材業のあり方」
講師 NPO法人活木活木(いきいき)森ネットワーク理事長
(元鹿兒島大学教授) 農学博士 遠藤 日雄 氏

遠藤先生はスギを中心とした林業生産、木材流通・加工の動向についてのわが国の第一人者。

※参加無料。先着六十名。希望の方は二月十五日までに会社名・氏名を組合宛 FAXでお申込み下さい。

小池都知事がカタカナ語を連発し、中でも都民ファーストは地域政党名にもなる、流行りよう。全木連では三年前から「ウッドファースト社会の実現に向けた行動宣言」をアピールしてきたが、お株を奪われそう。改めてウッドファースト社会実現のためと組合員ファーストでまいりますので、今年もよろしくお願いたします。(好)

新組合員の紹介

株式会社 JWR (名取市)

代表取締役 竹沢 一良 氏

工房横屋 (登米市) 代表 西條 孝一 氏

どうぞよろしくお願いたします